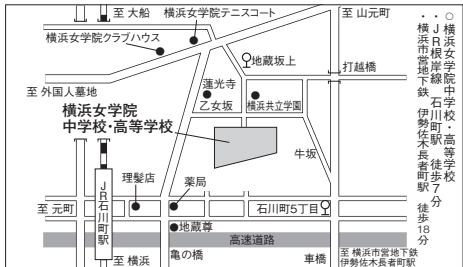


# 横浜女学院高等学校

〒231-8661 神奈川県横浜市中区山手町203 ☎045-641-3284 学校長 平間 宏一



〈URL〉 <https://www.yjg.y-gakuin.ed.jp/>

**沿革** 明治19年(1886)創立の横浜千歳女子商業学校と昭和18年(1943)創立の神奈川女子商業学校が同22年(1947)に合併し、横浜学院女子商業学校・横浜女子中学校として開校。同27年(1952)キリスト教教育開始。平成11年(1999)現校名に改称。

## 校風・教育方針

プロテスタントのキリスト教精神に基づいて、主による「感謝・信頼・希望」を重んじ、「聖書こそ人間を創る真実の教えであり、これを中心に置いた女子の人間教育を行う」ことを建学の精神に掲げています。「キリスト教教育」「共生教育」「学習指導」の3つの教育理念に則り、校訓である「愛と誠」の人間教育に力を注いでいます。

## カリキュラムの特色

横浜女学院では、2015年度より文部科学省からSGHアソシエイト校に指定され、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んできました。2021年度からは、SGHグローバルネットワーク校に指定されました。7つの力と態度の育成を教育目標とし、継続的・発展的に取り組みます。

2018年度からは、「週6日制授業」「国際教養クラスの新設」「英語で学ぶための手法CLILを導入」しました。

〈2022年度教育改革〉予測困難な時代だからこそ、主体的に学び、知識を統合し、他者と話し合い協働し、創造的に思考し、自らの考えを再構築する必要性があると考えます。2022年度からは、授業時間を45分から65分に変更し、「主体的に学ぶ姿勢」を



身につけています。具体的には、国際教養クラスでは、コンセプトを中心に据えて、複数の教科からアプローチをしていくことで、思考の過程で知識を流動的に結合させ、実社会と関連付けながら活用していく力を身につけていきます。また、英語で学ぶ「CLIL(内容言語統合型学習)」でも地理や生物、美術、聖書などの科目と密接に関連付けて得た知識を活用し、その過程で英語でのコミュニケーション能力や思考力、主体性を学んでいきます。〈学びプロジェクト〉オンラインも活用し、放課後の時間に実施します。授業では扱わないテーマやトピックを設定し、自分の考えを発表や対話をするプロセスで、思考力や表現力、リサーチ能力を育みます。また、他校と協働してグローバル化についてのイベントをオンラインで企画し、学校の枠を超えた取り組みを行います。

〈第二外国語〉国際教養クラスでは中学1年生より必修で中国語・ドイツ語・スペイン語を中心に学習をします。言語を通じて文化を感じることを目標とし、横濱中華学院や東京横浜独逸学園とも交流イベントを行い、幅広い視野を身につけます。〈国際教育〉中3では、全員がニュージーランドセミナー(アカデミークラスは12日間、国際教養クラスは約1カ月間)に参加します。「エネルギー問題」、「多文化共生」「生物多様性」について、姉妹校や提携校でパネルディスカッションなどの協働学習を実施し、お互いの考えや文化を認め合い、他者を受け入れることの大切さを学びます。

## 高大連携プログラム

大学の先生を招いての講座だけではなく、大学

3学期制 登校時刻 8:15 昼食 弁当持参、パン販売 土曜日 授業(3限)

の設備などを使用することにより、効果的な学習ができるよう、協力をお願いしています。〈提携大学〉関東学院大 成城大 成蹊大 明治学院大 武蔵大 東京女子大 東洋英和女学院大 國學院大 慶應義塾大\* 上智大\* \*慶應義塾大、上智大は学部学科連携

## 環境・施設設備

JRと横浜市営地下鉄が利用でき、横浜市外からの通学者も少なくありません。学校施設はすべて耐震補強がされています。また、生徒は一人一台ずつ端末を持っているので、校舎のどこでもWi-Fiからインターネットにアクセスできます。教室の備え付けのプロジェクターとスクリーンを利用すれば、どの教室でもプレゼンやディスカッションが行えるようにしています。

## 生活指導・心の教育

他者を思いやり、友情を築き、人間性を高める

共生教育を実践しています。自分で考えて行動し、自分で決めていく力を身につけるために、さまざまなことにチャレンジしていく心をサポートしていきます。専任カウンセラーが常駐し予約制で面談に応じるほか、養護教諭、生活指導教諭も組織的・積極的に指導にあたります。

## 学校行事

6月の体育祭、9月のコーラスコンクール、11月のなでしこ祭は生徒が企画から運営までを担い、自主性や積極性が養われています。中3の10月には全員参加のニュージーランド海外セミナーを実施。希望者はアメリカ、ヨーロッパ、ニュージーランドで短期・長期の国際教育プログラムに参加できます。宗教行事はイースターやクリスマスの礼拝のほか、神様に祈り讃美し、人生について、共に生きることについて学が重要な行事「八学会」が行われます。

## データファイル

### 2024年度入試日程

中学校		募集人員は国際教養クラス/アカデミークラス			
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
A入試 5/40	1/6~ 試験当日	2/1	2/1	2/12※	
B入試 10/27		2/1午後	2/1	2/12※	
C入試 5/30		2/2	2/2	2/12※	
D入試 5/25		2/2午後	2/2	2/12※	
E入試 5/22		2/3午後	2/3	2/12※	
帰国A	11/7~11/26	11/27	11/27	1/9	
B	若干	12/4	12/4	1/9※	
C	2/6~2/19	2/21	2/21	3/4※	

※入学書類受け取りは、一般2/5、帰国B12/5、帰国Cは2/22まで

B入試、E入試は特別奨学生入試を実施(各日3人募集)

帰国Aはオンライン入試(海外滞在型)

〈高等学校〉 帰国生のみ募集します

### 2024年度選考方法・入試科目

〈中学校〉 国際教養クラス・特別奨学生：①4科②国・英③算・英から選択

アカデミークラス・特別奨学生：①2科②4科③英・国④英・算から選択

帰国：国算・国英・算英から選択、作文・面接あり  
〈配点・時間〉国・算=各100点50分 理・社・

英=各60点30分〈面接〉帰国のみ 生徒個人

### 指定校推薦枠のある主な大学

上智大 青山学院大 立教大 中央大 法政大 学習院大 国際基督教大 東京女子大 國學院大 など

### 2023年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
99人	74人	1人	2人	1人	0人	21人

### 2023年度入試結果

中学校		国際教養/アカデミー 特奨はI/II			
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
A 5/40	134/173	56/79	19/64	2.9/1.2	
B 10/27	219/291	167/221	52/172	3.2/1.3	
C 5/30	192/254	75/102	15/62	5.0/1.6	
D 5/25	259/366	104/141	36/87	2.9/1.6	
E 5/22	281/396	87/121	46/89	1.9/1.4	
特奨I/II	382/483	295/154	5/4	59.0/38.5	

### 学校説明会

すべて要予約  
9/16 11/11 12/16 1/6 ※体験プログラム等あり  
ミニ説明会 10/4 10/12 10/28 11/17 11/25  
スクールツアー 9/2 10/7 10/28

学校見学は随時可(要予約)

〈見学できる行事〉要予約  
文化祭 11/2・11/3

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください